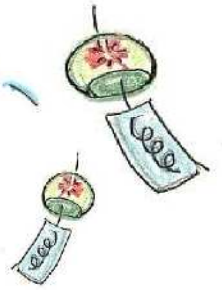


7月の健康だよ!

R4. 7. 1
梶ヶ谷保育園



夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
マスクを着用しない場面であっても引き続き、手洗い、『密』の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

屋外・屋内でマスクの着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。
一人ひとりの行動が大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、
距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、
マスクを着用する必要はありません。
- 屋内では、人との距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ
会話をほとんど行わない場合は、
マスクを着用する必要はありません。



マスク着用の必要がない場面



屋外

- ・人との距離が確保できる場合
- ・人との距離が確保できなくても、
会話をほとんど行わないような場合
＜例＞離れて行う運動や移動、
鬼ごっこなど密にならない外遊び
＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

屋内

- ・人との距離が確保でき、
会話をほとんど行わないような場合
＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について

保育園にマスクを着用して登園されていますが、熱中症のリスクが高まるのが懸念されています。体調の悪い時、マスク着用の必要がない時他、上記の事を踏まえて、マスク着用を無理強いすることにならないようにしております。

※厚生労働省のリーフレットを玄関に掲示しております
のでご覧下さいますようお願い致します。

2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



※参照資料
厚生労働省のリーフレットより